

都市再生整備計画 事後評価シート

遠賀都市活性化地区

令和4年12月

福岡県遠賀町

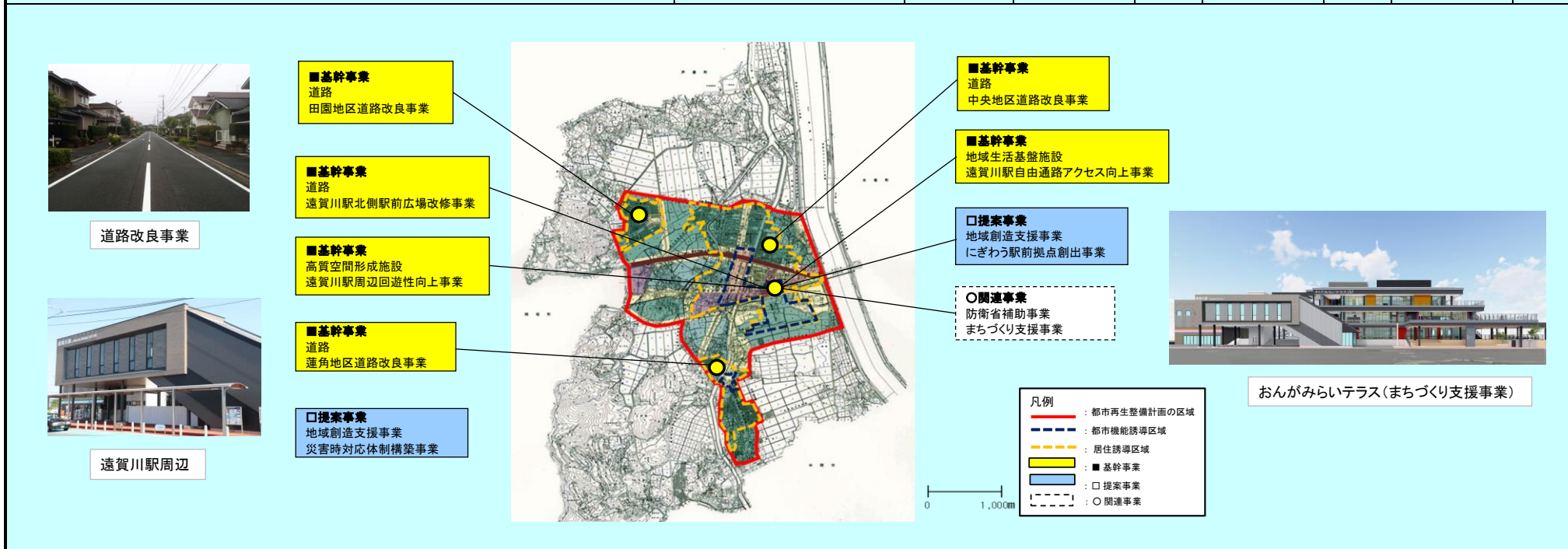
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	遠賀町	地区名	遠賀都市活性化地区		面積	575ha					
交付期間	平成30年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	550.9百万円	国費率	47.90%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業	連合地区道路改良事業、中央地区道路改良事業、田園地区道路改良事業、遠賀川駅自由通路アクセス向上事業											
	提案事業	災害時対応体制構築事業											
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	基幹事業	遠賀町南部洪水調節施設整備事業	土地区画整理組合が事業主体となって整備することになったため削除。			全ての指標において、数値目標を下方修正。							
提案事業	事業効果分析事業	より正確な分析・検証が行えるよう、全ての計画が終了した翌年に、町単費で行うため削除。			影響なし								
新たに追加した事業		基幹事業	遠賀川駅北側駅前広場改修事業、遠賀川駅周辺回遊性向上事業			北側駅前広場・ベデストリアンデッキ整備により、歩道が狭くなることによる歩行者の安全確保のための歩道幅幅や公共交通結節機能の改善を図るため追加。 駅周辺回遊性:上記理由に伴い、バスシェルターや照明の新設整備等を行い、歩行者の回遊性の向上を図るため追加。		影響なし					
提案事業	にぎわう駅前拠点創出事業	駅前に整備する交流施設「おんがみらいテラス」をより魅力的な施設とするための事業計画を策定し、目標である「にぎわい創出による都市の活性化」を目指すため追加。			指標3の数値目標を上方修正。								
交付期間の変更	当初	平成30年度～平成34年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	令和4年度に行う事業がなくなったことによる期間の短縮。									
変更		平成30年度～令和3年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	避難時間が短縮できる家屋の戸数	戸	0	H29	1,426	R3		1,557	○	あり なし	道路改良事業や災害時対応体制構築事業により、円滑かつ迅速に避難ができる体制を整えることができた。	なし
	指標2	対象区域の人口	人	13,815	H29	13,733	R3		13,807	○	あり なし	駅を中心とする整備事業や道路改良事業を行うことにより、町の人口が減る中でも、対象区域の定住人口を維持することができた。	なし
	指標3	JR遠賀川駅の乗降客数	人/日	5,281	H27	5,260	R3		4,040	×	あり なし	新型コロナウイルス感染症の影響により、正確な数値が把握できず評価できなかった。	なし
	指標4									あり なし あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	官民連携による取組			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

遠賀都市活性化地区(福岡県遠賀町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
安心・安全で快適な暮らしを支える環境整備とにぎわい創出による都市の活性化を目指す。 目標:防災や減災機能の強化による災害に強いまちづくり 目標:快適で心豊かにはつらつと暮らすことのできる生活環境基盤の強化 目標:遠賀川駅周辺を軸にポテンシャルを秘めた地区のにぎわいと活力の創出	避難時間が短縮できる家屋の戸数	0 H29	1,426 R3	1,557 R3	
	対象区域の人口	13,815 H29	13,733 R3	13,807 R3	
	JR遠賀川駅の乗降客数	5,281 H27	5,260 R3	4,040 R3	
			H	R	R
			H	R	R



まちの課題の変化

- ・防災に関しては、道路改良事業における冠水・浸水対策や災害時避難行動要支援者名簿管理システムの構築、そしてハザードマップの改訂・全戸配布により、災害時における円滑かつ迅速な避難へとつなげる体制を整えることができた。
- ・既存の自由通路を生かした整備事業実施により、改札が2階となった遠賀川駅や交流施設「おんがみらいテラス」へのアクセスが南北両側から良好となり、利便性の向上が図られた。
- ・駅を中心とした整備事業の実施により、駅北側におけるハード整備は充実した。駅周辺の活性化のためには、駅南側にある広大な土地を生かした都市基盤整備等が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・駅南地区にある広大な土地を生かし、定住や企業誘致を促進させるべく、都市基盤整備を行い、魅力的な居住空間を創出させる。
- ・将来の駅南地区の大規模な宅地や商業施設での大規模火災を防止するための防災対策を講じる。
- ・空洞化が進んでいる駅前商店街の振興を図り、駅南の企業誘致を確実にするための計画を策定し、駅を中心としたにぎわいと活力の創出を図る。
- ・町を活性化させることで、定住人口を維持する。